



令和元年常盤台地区 三世代交通安全教室を 実施しました

開催日時 令和元年 11月9日(土) 10:00~12:00

開催場所 常盤台地域ケアプラザ、常盤台コミュニティハウス

- 実施内容
- ① 最新のグラフィックを使った自転車の乗り方体験
 - ② 危険予知能力を高めるプログラム(DVD教材による)
 - ㊦ 自転車交通安全教室
 - ㊧ ドライブレコーダは見た衝撃の瞬間
 - ㊨ 交通博士からの挑戦

参加者数 34人

【男女別内訳】

男性14人(内 小学生1人)

女性20人

【世代別内訳】

祖父母世代25人

親世代 8人

子供世代 1人

今年度は、神奈川県条例で、自転車保険の加入が義務となりました。また、電動補助付自転車の普及が進み、この常盤台地域でも自転車が必要需品の一つになりつつありますが、自転車に乗るマナーや心構えは今一つの状況です。

自転車が歩行者にぶつかり、大怪我や死亡事故になったケースもあり、高額な賠償責任も発生しています。

そこで、今年の交通安全教室は自転車に焦点を合わせた内容の企画で行いました。

身近で気軽な自転車を便利で安全に使えるものとして、まずは、ルールとマナーを身に付けましょう。

《講習模様》



石川連合町内会長の開催の挨拶
で始まりました。



猪俣交通安全協会事務長による
交通安全教室の進め方の説明。



川畑警部補より、最近の交通事故の状況に
ついての講話に耳を傾ける参加者

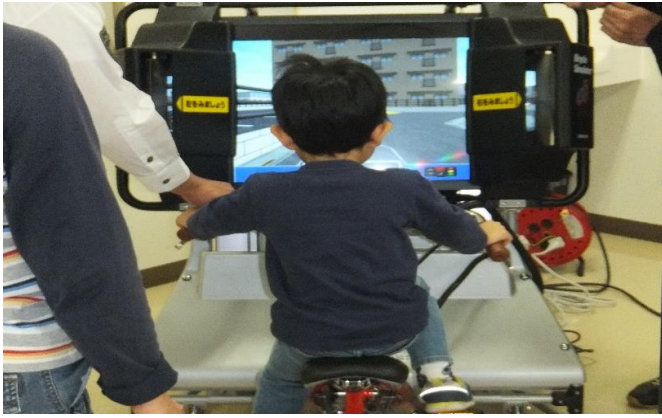
【講習はA・Bの2班に分かれ、入れ替え制で行われた】



川畑警部補による説明デモンストレーション



参加者による体験の開始



唯一参加の小学生がシュミレーションンチャレンジ!!



反射神経の能力測定機にチャレンジする参加者。(反射神経測定値と実年齢どっちが若いかな?)



小学生がこの測定器にもチャレンジ
若いと反応も早い!!



ご夫婦で参加、にこやかにご主人の手元を見つめる奥方……!!



猪俣事務長のDVDによる交通安全講習。
「ドライブレコーダーの記録や交通安全博士からの挑戦などで、交通安全に対する心構えが大分変わった。」との参加者の声が寄せられました。



川畑警部補による「三世代交通安全教室」講評。
「自転車保険への加入加入と、ルール及びマナーを守り、まず、身を守ることを優先的に考え、日常を過ごしてください。」との、話があった。

来年度も皆様に安全と安心をお届けできる計画を考えていきます。
常盤台地区連合町内会 防災・防犯部会